

再評価結果（平成20年度 事業継続 箇所）

担 当 課：都市・地域整備局街路課

担当課長名：松谷 春敏

事業名	都市計画道路御影山手線（深田池） <small>みかげやまてせん（ふかだいけ）</small>	事業区分	街路	事業主体	神戸市
起終点	自：神戸市東灘区御影山手2丁目 至：神戸市東灘区住吉山手4丁目 <small>こうべしひがしなだくみかげやまて こうべしひがしなだくすみよしやまて</small>			延長	0.449km
事業概要					
御影山手線は、東灘区山麓部を東西に連絡する道路で、南北道路（弓場線）と一体となって東灘山麓地域の道路ネットワークを形成する。 当路線の整備により、阪急神戸線以北の東灘山麓地域の防災性の向上や歩行者の安全確保などの効果が期待できる。					
H元年度事業化		S21年度都市計画決定 （H15年度変更）		H元年度用地着手	
				H2年度工事着手	
全体事業費		36億円		事業進捗率	
				26%	
計画交通量		9,000台/日		供用済延長	
				0.05km	
費用対効果分析結果	B/C	総費用 (残事業)/事業全体		総便益 (残事業)/事業全体	
	(事業全体)	24 / 37億円		61 / 61億円	
	1.7	事業費：23/36億円		走行時間短縮便益：60/60億円	
	(残事業)	維持管理費：0.98/0.98億円		走行経費減少便益：0.61/0.61億円	
	2.5			交通事故減少便益：0.74/0.74億円	
事業の効果等					
1. 活力（都市の再生） 対象区間が現在阪急御影駅から連絡道路がない御影山手団地への連絡道路となる。					
2. 暮らし（安全で安心できる暮らしの確保） 二次医療施設（甲南病院、六甲病院）へのアクセス向上が見込まれる。 他4項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見					
阪急御影駅に弓場線を経由して交通結節機能を発揮する路線であり、早期整備が必要である。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
阪急御影駅の南側では、現在、東灘山手土地区画整理事業が施工されており、都市計画街路網の整備が概ね完成している。 19年度末には、弓場線の阪急交差部の供用を予定しており、この供用により、弓場線に接続する御影山手線の早期整備の必要性がますます高まっている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
御影山手住宅開発行為により約50m間が完成。残区間の用地買収、街路築造工事を進める。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
これまでは、震災復興街路である弓場線の整備を先行させてきたが、今年度で一定の整備が完了する。引き続き御影山手線の整備に移行し、早期完成を目指し事業を進めていく予定である。					
施設の構造や工法の変更等					
構造等の変更は無いが、掘削土が発生するため、現場再利用や工事間流用など、コスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	防災性、安全性及び交通結節機能の向上など、早期整備が必要なため事業継続する。				
事業概要図					
次ページ					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

